

ストックマネジメントの導入による農業水利施設の有効活用の推進

予防保全対策等の新たな技術を取り入れた適切な維持保全による農業水利施設の長寿命化を図るとともに、施設ごとの更新適期の判断に基づく機動的かつ効率的な更新整備を実施。

224, 016 (173, 906) 百万円

1 ポイント

国営土地改良事業等により造成された基幹的な農業水路は全国で約4万km、ダム、用排水機場等の基幹的施設は約6,700ヶ所にのぼっており、これらの施設は、国民への食料供給基盤となる社会資本（ストック）を形成。

これらの施設は、順次更新時期を迎えるため、ストックマネジメント（機能診断や施設の劣化防止等の新たな技術を取り入れた保全対策）の導入により、その長寿命化や機動的な更新整備等を図り、適切で効率的な既存ストックの有効活用を推進。

(1) 国営農業水利施設予防保全対策の創設

- ① 国営造成水利施設保全対策指導事業（公共） 1, 420 (0) 百万円

国営造成施設について、長寿命化に向けた予防保全の観点から、機能診断、更新時期の判断等を行い、予防保全計画を策定。

- ② 国営造成水利施設保全対策事業（公共） 850 (0) 百万円

予防保全計画に基づき、施設の管理者が新技術等を活用しつつ、劣化原因の除去や劣化防止対策等を実施。

(2) 国営かんがい排水事業の拡充（公共）

221, 746 (173, 906) 百万円

更新事業に対応した指定工事制度の見直しにより、施設群単位で事業を分割し、効果の早期発現と償還ピーク期間の短縮を実現。

2 採択要件

(1) ①、②：国営土地改良事業により造成された基幹的な農業水利施設

(2)：受益面積3,000ha（畑にあっては、1,000ha）以上

3 事業実施主体

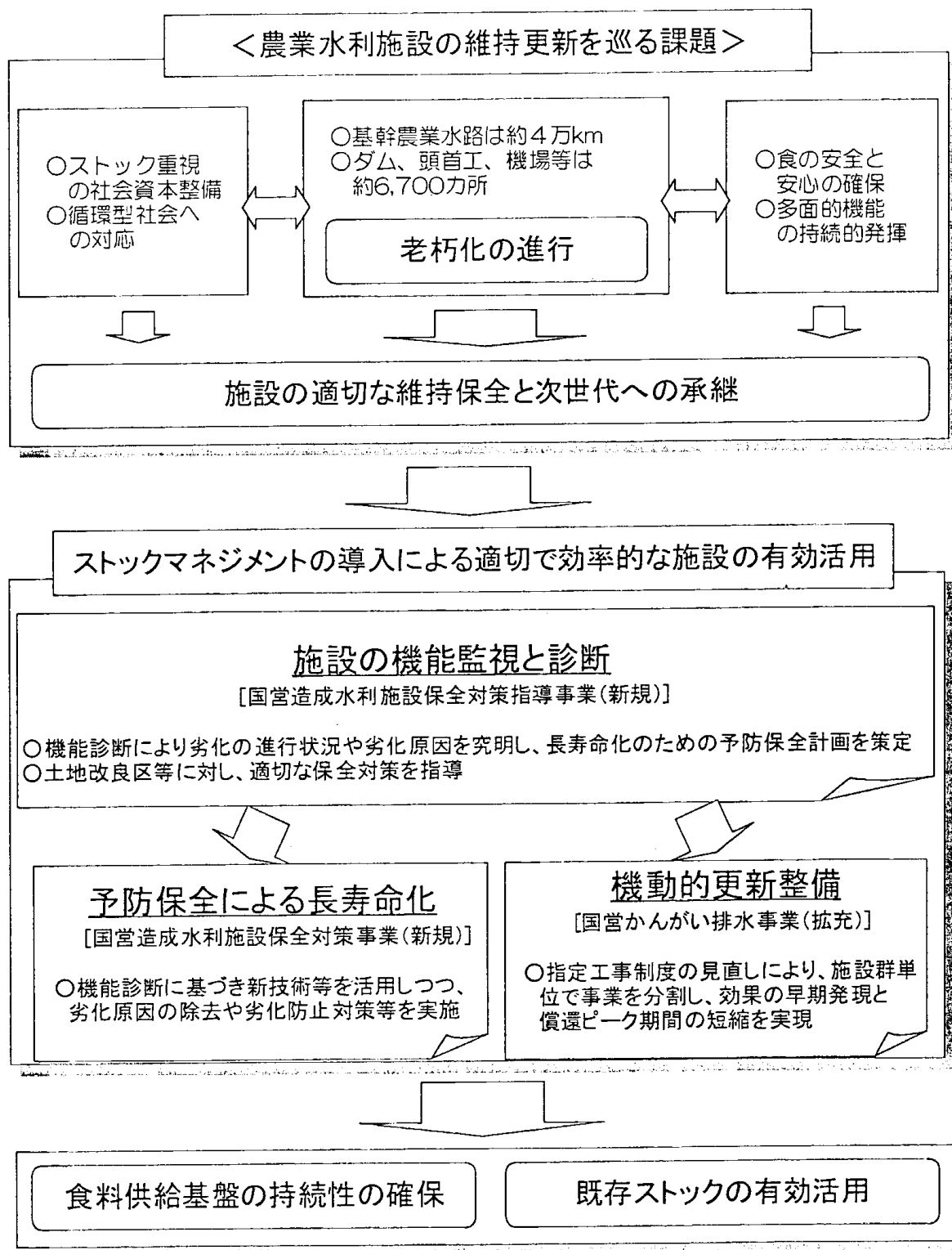
(1) ①、(2)：国

(1) ②：都道府県、市町村、土地改良区

4 補助率

(1) ①：10/10、(1) ②：1/2、(2)：2/3等

基幹水利施設保全更新対策(新規)



[担当課：農村振興局水利整備課（03-3501-3745（直））]